

波音

なみおと



清水海岸だより 第14号

Be-CLUB 主催のクリーンアップ作戦



特集

候補の構成資産

「世界文化遺産」の海岸を守る

美しい景観が保たれているのには訳がある！
志ある皆さんの地道な活動取材しました。

海岸を清掃する東海大学付属翔洋高校の生徒たち



「世界文化遺産」の海岸を守る [ゴミや流木の清掃活動]

静岡県では富士山の世界文化遺産登録を目指しており、いにしえより白砂青松の美しさから日本人に愛されてきた三保松原と付近の海岸はその構成資産のひとつとなっています。

緩やかに形作られた砂浜に白波が打ち寄せては崩れる「動」に対し、松原や富士山が「静」を成す。この対照が富士山の気高さをより一層引き立てます。海岸からの景色が国内でも有数の景勝であることは、皆さん御存知のことでしょう。

建学の地を美しく

東海大学主催 三保の松原美化活動

幼稚園児から大学生まで

東海大学主催の美化運動が、平成24年5月7日に実施されました。三保や折戸の地で学ぶ付属幼稚園の園児から大学の学生に加え、大学関係者など約2千人が、付近の海岸で清掃活動に汗を流しました。

ゴミの処理費用も大学が負担し、全学を挙げて取り組んでいます。



地元を愛する心が受け継がれていく

「年々汚れがひどくなっていく海をなんとかしなくては」東海大学付属第一高等学校と東海大学付属工業高校の生徒たちの声が、活動の始まりでした。昭和41年(1966年)に両校の生徒会数名で始められた活動は、それから約半世紀にもわたり続けられています。

引率した先生の一人は、赴任された25年前からこの活動に参加しており、コンクリートブロックが増えたことや砂浜の幅が狭くなったことに海岸の変化を感じると話してくれました。活動が長く続けられてきたことを、強く感じるお話でした。

今後も「建学の地」そして故郷を大切に思う気持ちが、幅広い世代に引き継がれていきます。

平成23年9月、この海岸が茶色に染まりました。台風15号の大雨により川から流れ出たと考えられる流木やゴミが、大量に打ち上げられました。静岡土木事務所では、美しい景色を阻害する流木への対応に現在も苦慮しています。

そんな中、地元の皆さんが行っている海岸清掃活動を知りました。地道な活動を多くの皆さんに知っていただくとともに、海岸を管理するヒントを得たいと思い取材しました。



子供達に伝えていく

クリーンアップ作戦に参加した親子

この活動は、環境保全だけでなく子供達に海の尊さや素晴らしさを伝えることを目的としています。「三保の美しい風景を子供達に残したい」と、語ってくれた鈴木さん。主催者の熱い思いが、今年で12回を数える活動を支えています。

平成24年5月20日の活動には、清水中央ロータリークラブと清水地区の日本ボーイスカウト、日本幼稚園児、その関係者など231人が参加しました。

参加者は清掃活動を通じて学び、きれいになった海岸でビーチフラックスを楽しみました。子供達は、楽しい思い出とともに海岸への愛着を高めたことでしょう。

清掃活動を通して 後世に美しい海を残す

Be-CLUB 三保海岸のクリーンアップ作戦

ゴミ拾いを通して海岸を見つめる

NPO法人 Be-CLUB が主催する清掃活動は、ただゴミを拾うだけではありません。拾ったゴミを分別し、ゴミの種類を記録します。流れ着くゴミから地球環境をとらえる全世界的な調査の一環として実施されています。

「いつも見ていると三保の魅力や良さがわからなくなってしまうのですが、この活動を通じて海辺の変化に気づくことができます」Be-CLUB 理事長の鈴木直明さんが話してくれました。



Be-CLUBの鈴木直明理事長

静岡土木事務所は考える(海岸を清掃する皆様への取材を終えて)

地元を支えられているからこそ美しい

今回、取材を通じて強く感じたことが2つあります。

- ・ 地元を大切に思う気持ちが活動を支えていること
- ・ 美しい海岸を次世代に伝えようとしていること、また引き継がれてきたこと

時間の関係で取材できませんでしたが、各自治会でも熱心に清掃をしていただいています。三保松原でも地道な活動が行われています。世界文化遺産登録の候補地になるほどの美しい海岸は、砂や石だけでなく、地元を愛する心でできているのだと強く感じました。

関係者の皆様、取材に快く応じていただき、ありがとうございました。

われわれに何ができるのか?

今回の取材を通じて地元の皆さんと海岸との深い関わりをあらためて知り、海岸を管理する上で以下の視点が必要と感じています。

- ・ 地元の皆さんにできないことをする
- ・ 皆さんが活動しやすい環境を整える

県の財政状況は依然厳しい状況にありますが、限られた予算を有効に活用し海岸保全に努めたいと思います。

静岡土木事務所の流木対策

1 多くの方が訪れる羽衣の松付近



羽衣の松付近の流木 (H23.12実施)

静岡土木事務所は、昨年末と今年5月に流木やゴミの撤去工事を行いました。

しかし、事業費が限られており全ての漂着物を撤去することはできません。

そこで、地元の連合自治会と相談するなどして、右の箇所を重点的に実施しました。

2 釣りや海水浴に利用される真崎灯台付近



海水浴場付近の流木 (H24.5実施)

お願い

海岸でたき火をしないように お願いします。

昨年度から、流木の火災がたびたび発生しています。

海岸でたき火をして暖を取る方が、火を消さずに放置したことが原因と考えられています。

暖かい季節になり火災の発生は少なくなりましたが、流木を使ってのたき火はもちろん、流木の近くでのたき火も控えていただくようお願いいたします。



平成23年9月には、約150mにわたり延焼。強風にあおられて燃え広がったとみられています。

ダンプトラックによる 養浜材の運搬を行います。

昨年に引き続き、安倍川や三保飛行場付近から、浜のやせた場所を中心に養浜材(人工的に浜を作るための砂礫)を運びこみます。

運搬するダンプトラックには交通規則と交通マナーを遵守させ見通しの悪い交差点などには交通整理人を配置するなど、安全対策には十分配慮します。

工事を開始する際には、回覧等でお知らせする予定です。

御迷惑をおかけしますが、御理解と御協力をよろしくお願いします。



養浜材を運びこむ予定の海岸※養浜の場所は、海岸侵食の状況を見て決定します。

Shimizu Kaigan Dayori NAMIOTO お問い合わせ、ご意見はこちらまで



New Public Engineering for SHIZUOKA
いっしょに、未来の地域づくり。
静岡県交通基盤部

静岡県静岡土木事務所
静岡市駿河区有明町2-20 (〒422-8031)
TEL 054-286-9156 FAX 054-286-9100
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-850/>
E-mail shizudo-kouji2@pref.shizuoka.lg.jp

